



R6.2月  
 みなまたしがっこうきゅうしょく  
 水俣市学校給食センター  
 ぶんせき やまさき たかぎ  
 文責 山崎・高木

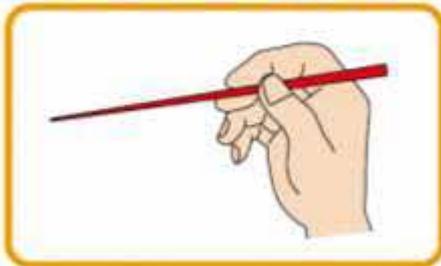
# ただ つか はしを正しく使おう！

まずは  
正しく持とう！

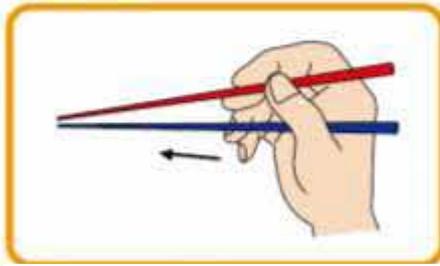


はしを正しく持つと、  
 ちょうど鳥のくちばし  
 のような形になって、  
 小さなものでもピンセ  
 ットのようにしてつま  
 むことができます。

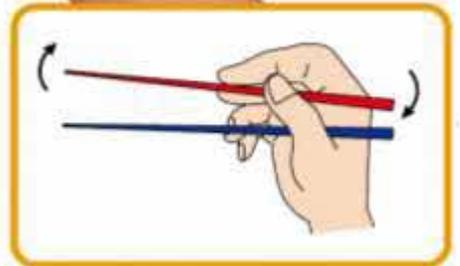
正しいはしの持ち方にするには



えんぴつを持つときのように上の  
 はしを持つ。



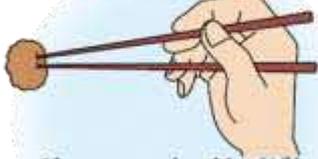
下のはしを親指の付け根から入れ、  
 薬指の先と2か所で支える。これは  
 しは動かさない。



親指は動かさないようにして、人差し  
 指と中指で上のはしだけを動かす。

## やってはいけないおはしのマナー

さしばし



はし先をいため、食べ物を乱暴に  
 扱っているように見えます。

ねぶりばし



見ていて、決して気持ち  
 よいものではないですね。  
 はし先もいためてしまい  
 ます。

よせばし



食器をひっくり返したり、食器  
 の底が爛んだりします。

なみだばし



周りが汚れてしまいます。汁物の臭は  
 食器ごと手にとって食べましょう。

まよいばし



料理に何か問題があったので  
 はないかと、作った人を嫌な  
 気持ちにさせてしまいます。

マナーははしや食器、食べ物を  
 大切に扱うためと、料理を作って  
 くれた人や一緒に食事をする人を  
 嫌な気持ちにさせないためにも  
 大切なことなのです。

食事を大事に思う心  
 がマナーにも表れて  
 くるのですね

